

## 学生アンケート調査

K03 大阪大学

「ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム」

対象者数：66人 …※

回答者数：57人

回答率：86.4%

実施期間：平成30年4月20日～5月24日

全プログラム平均回答率（学生）：86.3%

※ プログラムに選抜された学生のうち、平成30年3月末までにプログラムに入学（プログラムが独自に授与する学位又はプログラム修了証の授与対象者。編入も含む。）した学生で、かつアンケート実施時点も在籍している全学生（休学中の者を含む。）

## 学生アンケート調査

- この調査は、博士課程教育リーディングプログラムの平成24年度採択プログラムの事後評価の一環として、各大学の御協力により、文部科学省の指導の下で独立行政法人日本学術振興会が Transbird 株式会社に委託して実施するものです。
- プログラムに参加する皆さんに御意見を伺い、各プログラムの評価・改善に役立てると同時に、文部科学省による新たな施策の検討の参考とします。
- 回答内容は全て統計的に処理されるとともに、回答者個人についての情報が他の目的で使われることはありません。また、調査結果については、プログラムの改善に資するため、回答者個人が特定されないよう固有名詞の削除や複数の類似意見の統合等の処理を行った上で、当該大学に対して情報提供するほか、集計結果を公表することがあります。

独立行政法人日本学術振興会保有個人情報等保護規程

[http://www.jsps.go.jp/j-kojinjoho/data/filebo\\_2005/kitei.pdf](http://www.jsps.go.jp/j-kojinjoho/data/filebo_2005/kitei.pdf)

- **5月21日(月)まで**に御回答ください。
- 本アンケートに関するお問い合わせ先  
Transbird 株式会社 担当者: 太田・大沼  
Email: jsps-q@transbird.com

### 参加するプログラムと、御自身について伺います

問1 参加している大学・プログラム名について、以下に表示されている内容を確認してください。

K03 大阪大学 ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム

問2 年齢、性別について選択してください。

年齢	1. 24歳以下	2. 25～29歳	3. 30歳代	4. 40歳代以上
	12 人(21.1%)	40 人(70.2%)	5 人(8.8%)	0 人(0.0%)

性別	1. 女性	2. 男性
	5 人(8.8%)	52 人(91.2%)

問3 プログラムとの関係について選択してください。

プログラム 参加開始年度	1. 2012 年度 (平成 24 年度)	2. 2013 年度 (平成 25 年度)	3. 2014 年度 (平成 26 年度)	4. 2015 年度 (平成 27 年度)	5. 2016 年度 (平成 28 年度)	6. 2017 年度 (平成 29 年度)
	0 人(0.0%)	6 人(10.5%)	13 人(22.8%)	12 人(21.1%)	11 人(19.3%)	15 人(26.3%)

現在の学年	1. 大学院1年次 (M1)	2. 大学院2年次 (M2)	3. 大学院3年次 (D1)	4. 大学院4年次 (D2)	5. 大学院5年次 (D3)	6. 大学院6年次 以上
	0 人(0.0%)	15 人(26.3%)	11 人(19.3%)	12 人(21.1%)	16 人(28.1%)	3 人(5.3%)
	7. 医歯薬学又は 獣医学系 1年次	8. 医歯薬学又は 獣医学系 2年次	9. 医歯薬学又は 獣医学系 3年次	10. 医歯薬学又は 獣医学系 4年次以上		
	0 人(0.0%)	0 人(0.0%)	0 人(0.0%)	0 人(0.0%)		

プログラム 参加時期	1. 大学院入学と 同時に参加	2. 大学院入学後 1年以内に参加	3. 大学院入学後 2年目以降に参加
	53 人(93.0%)	2 人(3.5%)	2 人(3.5%)

学位論文執筆 予定分野	1. 学際・文理融合 分野 (情報学、環境 学、複合領域)	2. 人文社会分野 (総合人文社会、 人文学、社会科 学)	3. 理工分野 (総合理工、数物 系科学、化学、 工学)	4. 生物分野 (総合生物、生物 学、農学・獣医 学、医歯薬系)	5. その他
	12 人(21.1%)	0 人(0.0%)	26 人(45.6%)	19 人(33.3%)	0 人(0.0%)

5.その他(自由記述)

問4 経歴についてあてはまるものを全てを選択してください。

1	プログラムを実施する大学を卒業	35 人(61.4%)	5	社会人を経験後、プログラムに参加	2 人(3.5%)
2	留学生	10 人(17.5%)	6	現在も在職中	1 人(1.8%)
3	他の大学の学部を卒業(国立高専専攻科修了後学士を取得した場合を含む)後、プログラムに参加	15 人(26.3%)	7	在職中だが、休職中	0 人(0.0%)
4	他の大学院を経験後、プログラムに参加	1 人(1.8%)			

問5 指導教員(専門分野における研究指導を主に行う教員1名)とプログラムとの関係について選択してください。

1	指導教員がいる — その指導教員がプログラムにも参画している	39 人(68.4%)
2	指導教員がいる — その指導教員はプログラムには参画していない	17 人(29.8%)
3	その他	1 人(1.8%)

3.その他(自由記述)

問6ー1 このプログラムに参加しようと思った動機は何ですか。また、そのうちの最も強い動機は何ですか。

	当てはまる動機 (複数回答可)	うち、最も強い動機 (単一回答)
プログラムの目的と自分の目指す将来像が合っている	43 人(75.4%)	11 人(19.3%)
産業界、官界、NPO、国際機関への就職など自分の将来の可能性が広がる	34 人(59.6%)	3 人(5.3%)
通常の博士課程では得られない幅広い知識や経験が得られる	51 人(89.5%)	16 人(28.1%)
他の研究科(専攻)の学生や教員、留学生等との交流の幅が広がる	43 人(75.4%)	2 人(3.5%)
留学や海外インターンシップなど海外での経験が積める	34 人(59.6%)	2 人(3.5%)
グローバルな舞台で活躍していくために Ph.D.が必要	36 人(63.2%)	3 人(5.3%)
経済的な支援が充実している	53 人(93.0%)	18 人(31.6%)
何となく面白そうだった	35 人(61.4%)	1 人(1.8%)
友人・知人や研究室の先輩等の教員以外の人にプログラムを勧められた	20 人(35.1%)	1 人(1.8%)
指導教員等に勧められた(自分の意志で参加)	25 人(43.9%)	0 人(0.0%)
指導教員等に勧められた(断ることができなかった)	2 人(3.5%)	0 人(0.0%)

上記を選択した理由やその他の理由がある場合について、自由に記述してください。

個人が特定されないよう処理をした上で、参加しているプログラムへ記述内容を情報提供しても良いですか。(はい・いいえ)

問6ー2 このプログラムがなかった場合、最終学位としてどれを選択していましたか。

1	学士(今所属する大学)	0 人(0.0%)	5	修士(他大学)	1 人(1.8%)
2	学士(他大学)	0 人(0.0%)	6	博士(今所属する大学と同じ研究科・専攻等)	25 人(43.9%)
3	修士(今所属する大学と同じ研究科・専攻等)	23 人(40.4%)	7	博士(今所属する大学の別の研究科・専攻等)	1 人(1.8%)
4	修士(今所属する大学の別の研究科・専攻等)	4 人(7.0%)	8	博士(他大学)	3 人(5.3%)

問7 プログラムの以下の点をどのように評価していますか。

	非常に良い	良い	どちらとも言えない	良いとは言えない	機会がなかった
他の専門分野の学生との交流	45 人 (78.9%)	10 人 (17.5%)	2 人 (3.5%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
他大学の学生との交流	10 人 (17.5%)	23 人 (40.4%)	18 人 (31.6%)	2 人 (3.5%)	4 人 (7.0%)
専門分野以外の教員との出会い	35 人 (61.4%)	20 人 (35.1%)	2 人 (3.5%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
企業人との交流	26 人 (45.6%)	27 人 (47.4%)	4 人 (7.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
専門分野以外の幅広い知識や経験	33 人 (57.9%)	23 人 (40.4%)	1 人 (1.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
奨励金や授業料の補助など大学からの経済的支援	48 人 (84.2%)	7 人 (12.3%)	2 人 (3.5%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
議論することに対する自信をつけること	31 人 (54.4%)	19 人 (33.3%)	7 人 (12.3%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
アカデミア以外の分野で活躍する自信をつけること	24 人 (42.1%)	23 人 (40.4%)	8 人 (14.0%)	1 人 (1.8%)	1 人 (1.8%)
語学力向上のためのカリキュラム	18 人 (31.6%)	26 人 (45.6%)	10 人 (17.5%)	1 人 (1.8%)	2 人 (3.5%)
インターンシップの機会	29 人 (50.9%)	16 人 (28.1%)	9 人 (15.8%)	0 人 (0.0%)	3 人 (5.3%)

## プログラムでの実施状況等について伺います

問8 このプログラムで、以下の指導をどの程度受けましたか。また、受けた場合、それは有効ですか。

※受けた頻度で「よく受けた」・「ある程度受けた」を回答した場合、有効か(網掛け部)は必須回答。

※受けた頻度で「受けていない」を回答した場合、「今後受ける予定」の有・無は必須回答。

	受けた頻度					有効か			
	よく受けた	ある程度受けた	受けていない	今後受ける予定		有効	ある程度有効	あまり有効ではない	有効ではない
				有	無				
指導教員以外の教員からの指導	22 人 (38.6%)	34 人 (59.6%)	1 人 (1.8%)	0 人 (0.0%)	1 人 (100.0%)	34 人 (60.7%)	21 人 (37.5%)	1 人 (1.8%)	0 人 (0.0%)
企業や官界等の学外者からの指導・助言	13 人 (22.8%)	43 人 (75.4%)	1 人 (1.8%)	0 人 (0.0%)	1 人 (100.0%)	26 人 (46.4%)	29 人 (51.8%)	1 人 (1.8%)	0 人 (0.0%)
主専攻以外の分野の授業等の履修	15 人 (26.3%)	38 人 (66.7%)	4 人 (7.0%)	1 人 (25.0%)	3 人 (75.0%)	28 人 (52.8%)	24 人 (45.3%)	1 人 (1.9%)	0 人 (0.0%)
研究室ローテーション ※名称は問わない(他研究室に一定期間滞在するなど、異分野の専門的な知識を身に付ける機会を指す。)	18 人 (31.6%)	38 人 (66.7%)	1 人 (1.8%)	1 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	22 人 (39.3%)	28 人 (50.0%)	5 人 (8.9%)	1 人 (1.8%)
プロジェクト形式による授業や課題	39 人 (68.4%)	15 人 (26.3%)	3 人 (5.3%)	1 人 (33.3%)	2 人 (66.7%)	37 人 (68.5%)	16 人 (29.6%)	0 人 (0.0%)	1 人 (1.9%)
授業外のサポート(メンター等)	20 人 (35.1%)	32 人 (56.1%)	5 人 (8.8%)	2 人 (40.0%)	3 人 (60.0%)	29 人 (55.8%)	20 人 (38.5%)	2 人 (3.8%)	1 人 (1.9%)
産業界、官界、NPO、国際機関など 教育研究機関以外へのキャリアパス 具体化のための情報提供 例：産学共同研究、産業界等の講師 を招いたセミナー等	27 人 (47.4%)	29 人 (50.9%)	1 人 (1.8%)	0 人 (0.0%)	1 人 (100.0%)	27 人 (48.2%)	28 人 (50.0%)	1 人 (1.8%)	0 人 (0.0%)

上記を選択した理由や特に有効と思ったことがあれば自由に記述してください。

個人が特定されないよう処理をした上で、参加しているプログラムへ記述内容を情報提供しても良いですか。(はい・いいえ)

問9A. このプログラムにおいて、以下のことは整備されていますか。また、それは有効ですか。  
 （整備されていない場合は「該当なし」を選択。）

※整備されているで「十分にされている」「ある程度されている」「不十分」を回答した場合、有効か（網掛け部）は必須回答。

	整備されている				有効か			
	十分に されている	ある程度 されている	不十分	該当なし	有効	ある程度 有効	あまり有効 ではない	有効 ではない
奨励金や授業料の補助など大学からの経済的支援	50 人 (87.7%)	5 人 (8.8%)	2 人 (3.5%)	0 人 (0.0%)	53 人 (93.0%)	4 人 (7.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
異分野の学生間で切磋琢磨できる環境 例：学生が交流するスペース、合同のセミナー等	43 人 (75.4%)	14 人 (24.6%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	40 人 (70.2%)	16 人 (28.1%)	1 人 (1.8%)	0 人 (0.0%)
通常の大学院では接触しにくい人との交流の機会 例：企業や官界等の学外者、外国人等	37 人 (64.9%)	20 人 (35.1%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	39 人 (68.4%)	17 人 (29.8%)	1 人 (1.8%)	0 人 (0.0%)
学生のみでプロジェクト等を企画・運営する機会	51 人 (89.5%)	6 人 (10.5%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	44 人 (77.2%)	11 人 (19.3%)	2 人 (3.5%)	0 人 (0.0%)

上記を選択した理由や特に有効と思ったことがあれば自由に記述してください。

個人が特定されないよう処理をした上で、参加しているプログラムへ記述内容を情報提供しても良いですか。（はい・いいえ）

問9B. このプログラムによって、以下のことを経験しましたか、また、経験した場合それは有効でしたか。  
(プログラムのカリキュラムに以下の制度・取組がない場合は「修了まで参加予定なし」を選択。)

※参加の有無で「参加した」を回答した場合、有効か(網掛け部)は必須回答。

	参加の有無			有効か			
	参加した	これから参加	修了まで参加予定なし	有効	ある程度有効	あまり有効ではない	有効ではない
①国内の民間企業又は官公庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月未満)	4人 (7.0%)	5人 (8.8%)	48人 (84.2%)	3人 (75.0%)	1人 (25.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
②国内の民間企業又は官公庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月以上)	9人 (15.8%)	21人 (36.8%)	27人 (47.4%)	9人 (100.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
③国内の民間企業又は官公庁、国際機関等への研修・インターンシップ以外の国内での学外活動 ※1	11人 (19.3%)	7人 (12.3%)	39人 (68.4%)	9人 (81.8%)	2人 (18.2%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
※1 「参加した」、「これから参加」と回答した場合、具体的な活動内容や期間を記入してください。							

④海外の民間企業又は官公庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月未満)	5人 (8.8%)	8人 (14.0%)	44人 (77.2%)	5人 (100.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
⑤海外の民間企業又は官公庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月以上)	3人 (5.3%)	26人 (45.6%)	28人 (49.1%)	3人 (100.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
⑥プログラムの中での留学(3月未満)	1人 (1.8%)	4人 (7.0%)	52人 (91.2%)	1人 (100.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
⑦プログラムの中での留学(3月以上1年未満)	2人 (3.5%)	9人 (15.8%)	46人 (80.7%)	2人 (100.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
⑧プログラムの中での留学(1年以上)	0人 (0.0%)	4人 (7.0%)	53人 (93.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
⑨海外の民間企業又は官公庁、国際機関等への研修・インターンシップ及び留学以外の国外での学外活動 ※2	11人 (19.3%)	4人 (7.0%)	42人 (73.7%)	11人 (100.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
※2 「参加した」、「これから参加」と回答した場合、具体的な活動内容や期間を記入してください。							

上記を選択した理由や特に有効と思ったことがあれば自由に記述してください。

個人が特定されないよう処理をした上で、参加しているプログラムへ記述内容を情報提供しても良いですか。(はい・いいえ)



問10 このプログラムに参加することによって、以下の能力はどう変化しましたか。

	参加前			参加後		
	あった	ある程度あった	なかった	向上した	ある程度向上した	変化なし
高度な専門的知識・研究能力	2人 (3.5%)	34人 (59.6%)	21人 (36.8%)	37人 (64.9%)	19人 (33.3%)	1人 (1.8%)
高い国際性	4人 (7.0%)	26人 (45.6%)	27人 (47.4%)	30人 (52.6%)	22人 (38.6%)	5人 (8.8%)
専門以外の分野の幅広い知識	1人 (1.8%)	20人 (35.1%)	36人 (63.2%)	42人 (73.7%)	15人 (26.3%)	0人 (0.0%)
物事を俯瞰し本質を見抜く力	3人 (5.3%)	31人 (54.4%)	23人 (40.4%)	32人 (56.1%)	23人 (40.4%)	2人 (3.5%)
自ら課題を発見し解決に挑む力	4人 (7.0%)	35人 (61.4%)	18人 (31.6%)	33人 (57.9%)	24人 (42.1%)	0人 (0.0%)
独創的な能力	9人 (15.8%)	29人 (50.9%)	19人 (33.3%)	24人 (42.1%)	26人 (45.6%)	7人 (12.3%)
チームのマネージメント力	5人 (8.8%)	23人 (40.4%)	29人 (50.9%)	25人 (43.9%)	28人 (49.1%)	4人 (7.0%)
企画立案、関係者との調整、統率する能力	3人 (5.3%)	27人 (47.4%)	27人 (47.4%)	28人 (49.1%)	27人 (47.4%)	2人 (3.5%)
他者と協働する力	10人 (17.5%)	35人 (61.4%)	12人 (21.1%)	35人 (61.4%)	21人 (36.8%)	1人 (1.8%)
ディスカッション能力	6人 (10.5%)	35人 (61.4%)	16人 (28.1%)	36人 (63.2%)	21人 (36.8%)	0人 (0.0%)
プレゼンテーション能力	6人 (10.5%)	34人 (59.6%)	17人 (29.8%)	34人 (59.6%)	22人 (38.6%)	1人 (1.8%)
語学力	7人 (12.3%)	33人 (57.9%)	17人 (29.8%)	27人 (47.4%)	26人 (45.6%)	4人 (7.0%)
その他(具体的に： )	0人 (0.0%)	2人 (33.3%)	4人 (66.7%)	5人 (83.3%)	0人 (0.0%)	1人 (16.7%)

問11 以下の点についてどう考えますか。

	非常に そう思う	そう思う	そう 思わない	全くそう 思わない
プログラムに参加する教員間でプログラムについての理解が共有されている	23 人 (40.4%)	30 人 (52.6%)	4 人 (7.0%)	0 人 (0.0%)
一部の教員に負担が集中している	14 人 (24.6%)	25 人 (43.9%)	17 人 (29.8%)	1 人 (1.8%)
指導教員や研究室スタッフを含め、プログラムに参加していない教員等はプログラムの目的を理解し、プログラムに参加することに協力的である	21 人 (36.8%)	31 人 (54.4%)	4 人 (7.0%)	1 人 (1.8%)
学術研究だけではなく、産業界や官界、NPO、国際機関等で活躍する人材を育成する可能性が大きい	29 人 (50.9%)	26 人 (45.6%)	2 人 (3.5%)	0 人 (0.0%)
所属研究室での指導とこのプログラムでの指導が二重負担になっている	2 人 (3.5%)	11 人 (19.3%)	34 人 (59.6%)	10 人 (17.5%)
このプログラムによって自身の研究に新たな示唆・知見が得られた(得られそうである)	26 人 (45.6%)	24 人 (42.1%)	5 人 (8.8%)	2 人 (3.5%)
このプログラムによって自身の進路選択に関して新たな示唆・知見が得られた(得られそうである)	34 人 (59.6%)	19 人 (33.3%)	3 人 (5.3%)	1 人 (1.8%)
所属研究室において自分の専門的な研究を進めて、業績をあげられるか不安がある	5 人 (8.8%)	21 人 (36.8%)	20 人 (35.1%)	11 人 (19.3%)
修了後の進路に不安がある	7 人 (12.3%)	17 人 (29.8%)	26 人 (45.6%)	7 人 (12.3%)
後輩にもこのプログラムを勧めたい ※	29 人 (50.9%)	25 人 (43.9%)	2 人 (3.5%)	1 人 (1.8%)
※ 「そう思わない」、「全くそう思わない」と回答した場合、その理由を記入してください。				
個人が特定されないよう処理をした上で、参加しているプログラムへ記述内容を情報提供しても良いですか。(はい・いいえ)				

## 御自身の今後の希望やプログラムによる成果等について伺います

問12 修了後の就職等についてどのような希望を持っていますか。

	大学院入学時の希望 (複数回答可) ※社会人学生は、 入学時の職業を選択	平成30年4月1日 現在の希望 (複数回答可) ※社会人学生は、 平成30年4月1日現 在の職業を選択	既に進路が 決定している ※社会人学生は、 修了時の状況あるいは 転職先として該当する ものを選択
民間企業に就職(研究者以外として)	23人(40.4%)	22人(38.6%)	1人(20.0%)
民間企業に就職(研究者として)	38人(66.7%)	45人(78.9%)	4人(80.0%)
官公庁に就職	5人(8.8%)	8人(14.0%)	0人(0.0%)
国際機関に就職	5人(8.8%)	10人(17.5%)	0人(0.0%)
NPO・NGO等(公共的サービスの提供主体)に 就職	0人(0.0%)	1人(1.8%)	0人(0.0%)
医師、弁護士等の専門職	1人(1.8%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)
起業	12人(21.1%)	19人(33.3%)	0人(0.0%)
大学(海外を含む)に研究者として就職	33人(57.9%)	24人(42.1%)	0人(0.0%)
その他公的研究機関(海外を含む)に研究者と して就職	26人(45.6%)	20人(35.1%)	0人(0.0%)
ポスドク(博士研究員)	29人(50.9%)	22人(38.6%)	0人(0.0%)
決めていない	3人(5.3%)	1人(1.8%)	
その他(具体的に: )	1人(1.8%)	2人(3.5%)	0人(0.0%)

既に就職が決定している場合(社会人学生については転職することが決定している場合)、就職先、就職時期、就業形態、求職の方法(指導教員等による紹介、博士課程教育リーディングフォーラム等イベントでの人事担当者とのマッチング等)、できる限り具体的に記入してください。

--

問13 修了後の居住国について希望は持っていますか。

	今後の希望 (複数回答可)
日本	32人(56.1%)
日本あるいは母国以外の外国	20人(35.1%)
母国に帰国	1人(1.8%)
未定	10人(17.5%)

問14 プログラムへの参加によって、人生観、職業観、世界観、国際意識等がどのように変わったかを自由に記述してください。

個人が特定されないよう処理をした上で、参加しているプログラムへ記述内容を情報提供しても良いですか。（ はい ・ いいえ ）

問15 産学官民(※)にわたりグローバルに活躍するリーダーとなるため、プログラムにおいて主体的に行った活動及びその成果について自由に記述してください。  
(※「民」とは、NGO、NPO など公共的サービスの提供主体を指す。)

個人が特定されないよう処理をした上で、参加しているプログラムへ記述内容を情報提供しても良いですか。（ はい ・ いいえ ）

### 全般的な御意見を伺います

問16 参加するプログラムについて、自身の将来にどう役立つと思うか、また、どのように改善すればよいと考えるか、感想、意見を自由に記述してください。（下記①～③のうち1つでも構いません。）

①<プログラムが役立っている点・良い点>
個人が特定されないよう処理をした上で、参加しているプログラムへ記述内容を情報提供しても良いですか。（ はい ・ いいえ ）
②<改善を要する点(負担を感じる点など)>
個人が特定されないよう処理をした上で、参加しているプログラムへ記述内容を情報提供しても良いですか。（ はい ・ いいえ ）
③<その他>
個人が特定されないよう処理をした上で、参加しているプログラムへ記述内容を情報提供しても良いですか。（ はい ・ いいえ ）

(参考情報)よろしければ御協力ください

問17 あなたはこのプログラムをどのようにして知りましたか。(当てはまるもの全てを選択してください。)

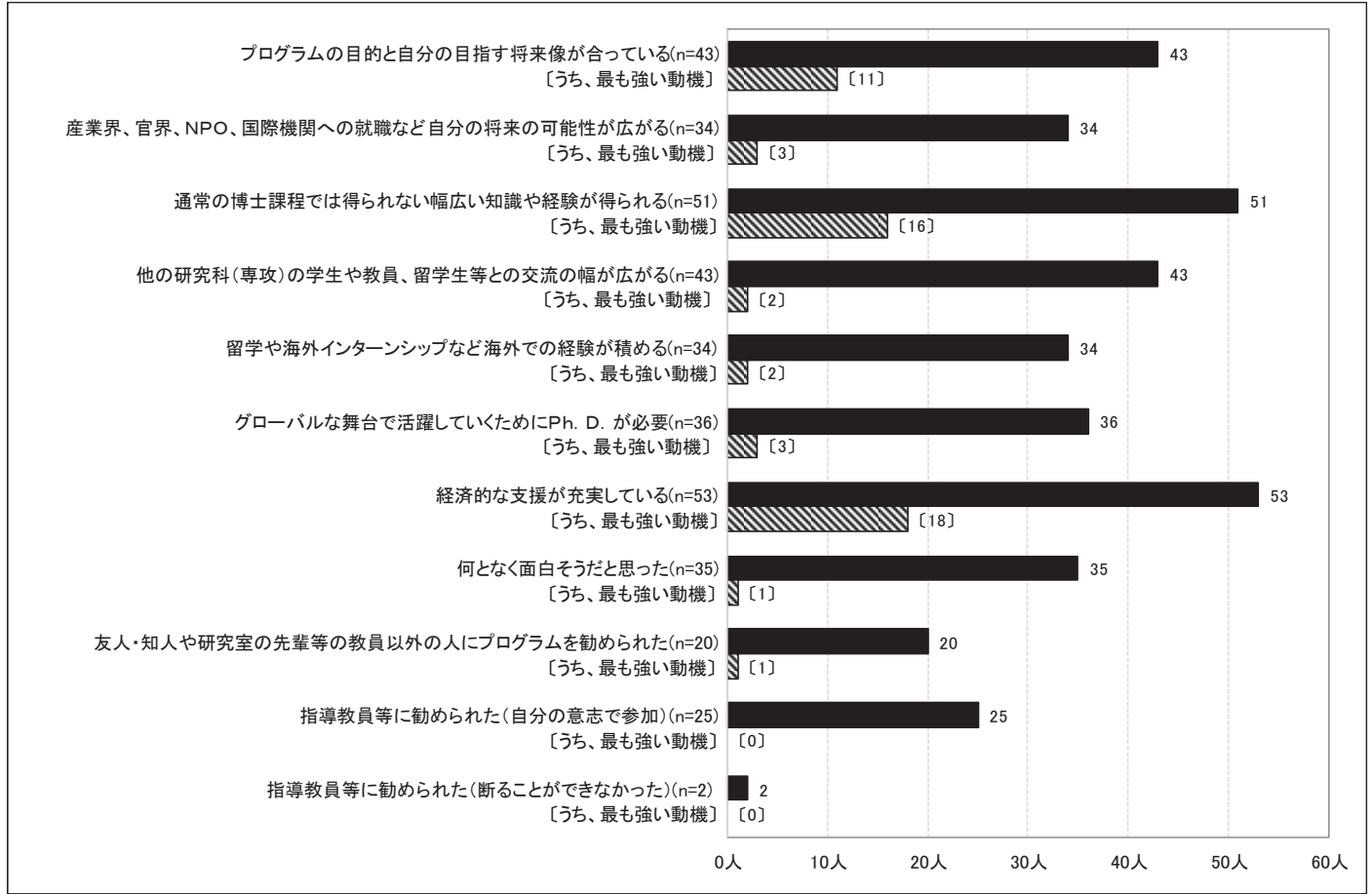
1	参加プログラムのウェブサイト	18 人(31.6%)
2	文部科学省のウェブサイト	1 人(1.8%)
3	日本学術振興会のウェブサイト	3 人(5.3%)
4	参加プログラムのリーフレット等	24 人(42.1%)
5	大学で行われた説明会・シンポジウム等	32 人(56.1%)
6	大学以外の場所で行われた説明会・シンポジウム等	1 人(1.8%)
7	新聞、雑誌等の広告	0 人(0.0%)

8	プログラム担当者の教員	24 人(42.1%)
9	プログラム担当者以外の教員	7 人(12.3%)
10	学内の友人・知人	27 人(47.4%)
11	学外の友人・知人	2 人(3.5%)
12	Facebook 等の SNS	0 人(0.0%)
13	その他(具体的に: )	1 人(1.8%)

アンケートは以上で終了です。御協力ありがとうございました。

## 《参考グラフ》

問6ー1 このプログラムに参加しようと思った動機は何ですか。また、そのうちの最も強い動機は何ですか。



問10 このプログラムに参加することによって、以下の能力はどう変化しましたか。

